

TOYOTA MEMORIAL HOSPITAL

世界水準へ。

トヨタ記念病院のご案内

TOYOTA WAY
FOR THE WORLD





アメリカ | 医療事情

果たして日本の理想とする医療は、 アメリカにあるのか？

合 理的、あるいは効率的な医療の見本としてつねに取り上げられるアメリカの医療。
しかし現実には美点ばかりではなく、様々な問題も抱えています。

日本のような国民皆保険制度が無く、民間による健康保険への加入が主流で、無保険者は4,400万人にも上ります。また貧困層に対するケアも満足とはいえず、大きな格差があります。さらに日本に比べて2.4倍といわれる一人当たり医療費も大きな医療問題の一つです。

しかし一方で、営利病院と非営利病院が混在することによる病院間の自由競争は、各病院の医療の質の向上に役立っています。また患者さま中心の医療という考え方が行き渡っています。たとえばプラントリーという非営利組織が患者さま中心の環境づくりを、病院と患者が一体となって進めるシステムなどは大いに参考となるはずです。さらに、救急医療体制が充実しており、この中で、トリアージが発展しています。患者の緊急度、重症度に応じて適切な処置や搬送が行われる仕組みです。これらの制度やシステムの一つひとつを丁寧に検証して、日本の風土に照らし合わせながら取り入れていくことが必要でしょう。

私たちがめざすものは。

TOYOTA WAY
FOR THE WORLD



日本という国で生まれ、日本の風土、
国民性に育まれてきた日本の医療が、
いま、転換期にある、それはおそらく医療の現場で働くすべての方々が、
感じておられることと思います。
私たちは、今、このときにこそ、再び「お客さま第一主義」の原点に戻り、
患者さまの満足、患者さまのための医療を追求していくことが、
もっとも大切なことであると確信しています。
患者さまの声に耳を傾けながら、
広く社会や世界に開かれた病院として、
世界に誇る、私たちトヨタ記念病院の「トヨタウェイ」を
つくり上げていきたいと考えています。



TOYOTA MEMORIAL HOSPITAL

●基本理念・基本方針

〈理念〉

「利用される方々の笑顔が私たちの誇りです。」

- 安心して受けられるよい医療
- 主役はお客さま
- 地域社会への貢献

〈基本方針〉

- (1) 医療の質の向上（安全の追求、高度医療・救急医療の推進）
- (2) お客さま満足度の向上（癒し、安らぎのある病院）
- (3) 地域医療機関との連携（紹介率の向上）
- (4) 働きがいのある病院（人材育成、ES→CS、経営基盤の確立）

〈私たちは患者さまの権利を尊重します。〉

- (1) 患者さまは適切な医療を平等に受けることができます。
- (2) 患者さまは治療方法を選択することができます。
- (3) 患者さまは医療上の内容・情報を知ることができます。
- (4) 患者さまは医療上の秘密を守ってもらうことができます。





日本 | 医療事情

わが国の風土に適した、 わが国独自の医療を。



日本の医療には世界に誇ることでできる様々な良い面があります。フリーアクセス、国民皆保険、あるいは患者さまと医師との人間関係が良好に保たれてきた…それが今崩壊状態にあります。それを今後どうするか、それこそ国にまかせておくだけでなく、それぞれの医療機関が、また医療の現場にいる一人ひとりの医療人が、自分の問題として考えなければならない時期に差し掛かっている、と思われます。

日本の病院の問題点の一つは、孤立しやすく、閉ざされがちであることではないかと思います。それは自由な競争がなく、制度によって保護されてきた長い歴史によるものでしょうか？しかし、それでは日本の医療を変え、水準を上げていくことはできません。自分をよく知るためのベンチマークとして、他者との交流が必要なのです。

世界ではどういう病院が評価され、どういう医療が評価されているのか、それをまず知ろう。他の国の真似をするのではなく、わが国独自のスタンダードを築くために、自分を知り、他を知る必要がある、それが今、日本の医療人にとって緊急の課題なのではないでしょうか？

病院長：稲垣春夫の考える
日本の医療、トヨタの医療
そして、今日本は。
これからの日本は。



病院長 稲垣春夫



地

域医療連携に
期待されるもの

日本の医療の問題点は色々あります。ただ一つあげるとすれば、それは一人ひとりの医療人にとって時間が無さ過ぎる、1病床当たりの医療人の数がわが国では圧倒的に不足している、ということだと思います。だから患者さまと向き合う時間もない、インフォームドコンセントの時間だってままならない。自ら研究したりする時間もとれない…、情報公開や患



者さまへの情報提供といっても、これではやはり絵に描いた餅に過ぎません。

これを解決するための方法として期待されているのが、地域全体で医療を役割分担していく地域医療連携です。

地域の診療所には医療の窓口、入口としての役割を担っていただき、大きな病院では24時間体制の救急医療や、高度な専門医療を担う。

そのために私たちは患者さまの情報を地域と共有するトータルITシステムを構築しています。ご紹介いただく患者さまの情報を一元管理し、さらに結果に関する情報提供や逆紹介も迅速かつ的確になります。正確な医療のためのデータベース構築という目的もあります。

しかし、ただ効率性のみを追求しているわけではありません。

人

と人との信頼関係を
ベースとした医療

「まかせられる医療」にもう一度立ち返りたい、そんな風に私は思っています。



TOYOTA WAY
FOR THE WORLD



それは「頼りになる病院」であり、「強い病院」であると思います。たとえば私たちの父親の時代、かつて医師というのは強く信頼されていたと思います。無批判的にただ過去の時代が良かったというのでは進歩がありませんが、EBM、クリニカルパス、IT化等、現代の効率性、有効性を追求する一方で、そのベースに患者と医師との信頼関係がなくてはならない、と私は思うのです。

商業的契約ですべてを語ってしまうような医療の在り方が、私はこの日本という国にふさわしいとは思えません。また根付くとも思えません。

効率性、有効性を追求するあまり、人間性や、信頼関係というのはつついなおざりにされがちです。どうしても数字で表したりすることが優先されて、人間として、という部分が置き去りにされる。それは決してあってはならないと、私は考えています。



世界水準の 高度医療へ

世界水準の 高度医療

1. 地域の生命を守る 安心の砦

- 24時間救急外来「ERトヨタ」
- 第3次救命救急センターをめざして

2. 地域に開かれた 信頼の診断力

- 高度医療設備
- 的確な診断を下す専門医

3. 患者さま視点の 高度治療

- 看護室
- 先駆的センター制

最先端医療の サポート体制



地域の生命を守る安心の砦。

24 時間体制の救急外来

当院では年間約4,000台の救急車を受け入れています。これは豊田市およびその周辺での救急車出動台数の約3割に相当します。また、脳出血、くも膜下出血、脳梗塞の患者さまを救うため、「脳卒中ホットライン」を設けています。これはSCU（脳卒中急性期病棟）を脳神経外科と神経内科の医師が担当し、救急隊からSC（脳卒中ケア）グループの医師へダイレクトに連絡をとることで対応するというシステムで、すでに多くの患者さまの生命を救っています。さらに救急車内にカメラを設置し、患者さまの状況を画像や音声を使って病院に待機する医師の元へ送るシステムを整備、重度傷病者の症状悪化防止や救命率の向上に貢献しています。

E Rトヨタと 高度医療の充実

2002年5月、当院は愛知県より「急性期入院加算」の認定を受けました。これは救急や重症の患者さまを受け入れ、手厚い治療を行う「急性期病院」として、公的に認められたもので、西三河北部医療圏では初めての認定となりました。

また、2004年7月には従来の救急外来を拡充し「ERトヨタ」と名称を変更、適切な初期診療が行える体制を整えました。また高度医療設備と専門スタッフを備えた集中治療室（ICU等）も新設しました。豊田市には、第3次救急を担う施設がありません。当院は、第2次救急病院でありながら、第3次救急病院と同等の医療を行える体制を備え、豊田市とその周辺地域の皆さまの生命を守る安心の砦となることをめざしています。

※ER:Emergency Roomの略





地域に開かれた信頼の診断力。

的

確な専門診断を提供する
専門医と高度医療検査機器

当院では、企業立病院、またこの地域に根ざした病院ならではの特色ある専門医を数多く擁しています。「地域周産期母子医療センター」の認定を受けた産婦人科、小児科の分野。スポーツ医学分野での強化を図っている整形外科、海外への赴任者を対象とした海外渡航科…。さらにMRIやCT等の最先端機器を設置、検査技師も多数擁して、つねに正確な診断に寄与しています。2005年春には、がんの早期発見などに威力を発揮する最新鋭の検査装置、PET（陽電子放出断層撮影）を、三河地区では初めて導入します。

地

域診療所との共同利用

これらの医療設備、検査機器、そして的確な専門医による診断は、地域の診療所の先生方にお役立ていただくことが重要だと考えています。当院との連携をご理解いただいている診療所の先生方はすでに300名以上となり、この先生方との共同診療の施設として24床の開放型病床も用意されています。開放型病床の稼働率も90%を超えています。

また地域の診療所の先生方との症例検討会などを通じて、地域全体の医療レベルを向上させ、どのような疾病も見逃さない、高度な診断力の育成を図っています。





患者さま視点の高度治療を推進。

看

護室の取り組み

患者さまと24時間、かたときも離れることなく共に快癒をめざす看護師。患者さまに安心して治療に専念していただくため、第1に医療事故の防止を目的としたセーフティマネジメント分科会を設け、すべての看護師がルールを順守し、患者さまの生命を守る高い意識と使命を持って看護に取り組んでいます。

また、臨床の看護はチームナースングで、きめ細やかな看護を実現しています。さらに、「認定看護師」など理想の看護体制を築くための各種資格を持つ看護師の育成にも力を入れています。

先

駆的センター制の導入

当院では、外科系と内科系の複数の医師が連携する「臓器別センター制」を採用しています。「心臓病」「呼吸器」「消化器」「脳卒中」の4センターでは、一人ひとりの患者さまの疾病に対し、当院の強みといわれる高度医療を駆使して、適切な診療を行うことをめざしています。また、妊娠・分娩・新生児医療を一連のものとして取り組む「地域周産期母子医療センター」（県認定）では、NICU（新生児集中治療室）も擁し、24時間入院応需の体制を整備しています。体外受精や顕微受精など最先端の不妊治療、生殖医療を行う「ジョイファミリー」は地域および学会で高い評価を得ています。

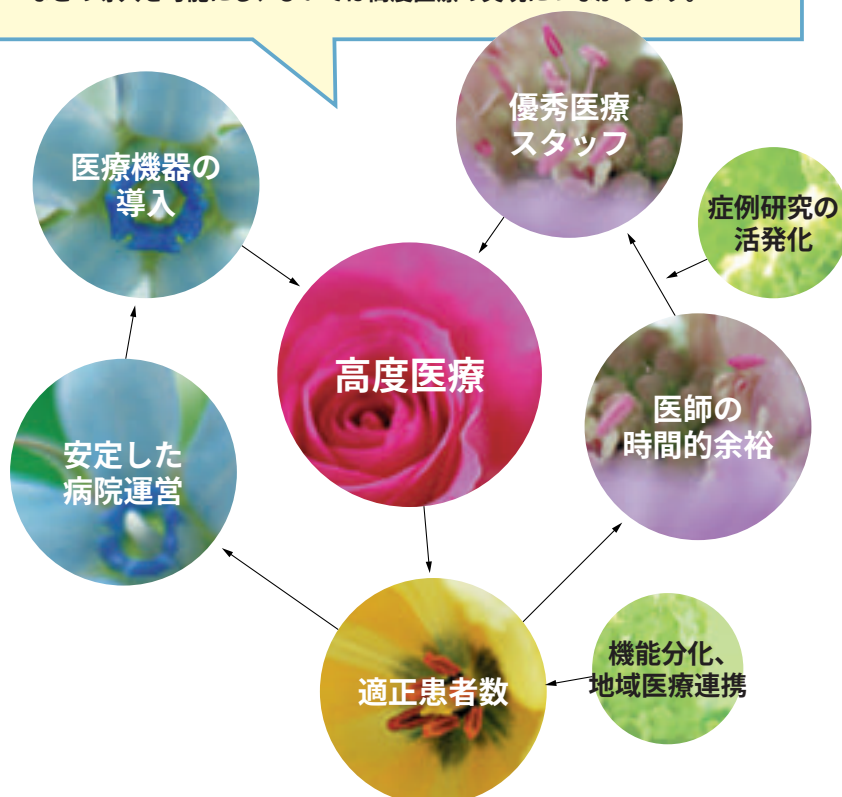


高度医療好サイクル体系

トヨタ記念病院では、高度医療を実現するためのサイクルとして、まず適正患者数を実現し、安定した病院運営と医師の時間的余裕の確保を図っています。

医師の時間的余裕は、症例研究などを活発化させ、優秀な医療スタッフの確保につながっていきます。

一方、患者数の確保は、安定した病院運営につながり、高度な医療機器などの導入を可能にし、ひいては高度医療の実現につながります。



世界水準の
ホスピタリティ

患者さま
満足度の向上

世界水準の ホスピタリティへ

1. アメニティ

癒しと安らぎの空間へ
向けた環境整備

- 個室病棟の増設
- 既存病棟のリフレッシュ

2. システム

信頼の医療を支え
より完璧なものとするシステム

- トータルITシステム
- セーフティマネジメント
- クリニカルパス
- EBM

3. ヒューマン

医療現場にいる
「人」として

- 臨床研修指定病院
- 医療の質の向上
- MASTの取り組み



癒しと安らぎの空間へ向けた環境整備。

より快適な 入院生活のために

当院の基本理念は、「利用される方々の笑顔が私たちの誇りです」。これは患者さまに当院の医療サービスにご満足いただくことこそ、私たち医療に従事する者の使命であることを意味しています。この理念を具現化するための一環として、患者さまにとっての入院治療を、より快適なものとするための新病棟を建設しました。これは、ともすれば住み慣れた家庭と家族を離れて不安等にさいなまれる患者さまの心を癒し、安らいだ時間を過ごしていただくために、患者さまの入院環境の快適化を図ったものです。すべての病室にシャワー・トイレを完備し、さらにバリアフリー化を実現した個室専用病棟です。

また既存病棟の改装により、全病棟をバリアフリー仕様にするとともに、6人部屋を廃止して余裕のある4人部屋とし、快適な入院環境づくりをめざしています。

温かいまなざしと 思いやりあふれる院内風土

また、当院では患者さまが病気を治療する環境を見直し、大切に考えていくための「癒しと安らぎ」プロジェクトを推進。その一環として院内には様々な絵画を展示、さらに患者さまや地域の皆さま、そして職員などの絵を展示する地域参加型のギャラリーとしても活用しています。また院内で開催されるコンサートやクリスマスイベント、あるいはボランティアの方々による病院案内等によって、当院が患者さまにとって優しい風土を保てるよう努めています。





信頼の医療を支え、 より完璧なものとするために。

ト

ータルITシステムを
活用した医療連携

当院では、質の高い安心できる医療を支援するため、診療情報の共有化を推進する電子カルテシステムを核としたトータルITシステムを構築しました。このシステムを利用し、地域医療連携室では、地域の診療所からご紹介いただいた患者さまの外来・検査・入院の予約などをスムーズに行っています。また地域の診療所への、結果に関する情報提供や逆紹介も迅速かつ的確に行うことができます。また救急患者さまには、搬送時から当院とリアルタイムに音声・画像情報を交換し、電子カルテで患者履歴を参照しながら医師が適切な指示を与えることができます。

さらに、このシステムの利用は、EBMと呼ばれる科学的根拠に基づく医療を実践していく上で、必要な症例の蓄積や分析に有効となります。一方でインフォームドコンセント等、患者さまへの情報提供・公開にも欠かせないものとなります。将来的には、大学・研究機関等との共同研究、共同診療等も視野に入れて、さらに進化させていきたいと考えています。

セ

ーフティマネジメント、
クリニカルパスの取り組み

質が高く、安心できる医療を提供するためには、医療事故の防止が欠かせません。

このため日常の医療現場で「ヒヤリ」「ハッ」とした体験を報告しあい、大きな事故になった可能性を検証して、速やかに問題点を発見し、解決策を講じるためのセーフティマネジメント分科会を設置しています。また疾患ごとの治療予定表を作成して治療内容を標準化し、医療の質の確保を図るクリニカルパスを導入、患者さまへの治療や検査の説明にも役立ち、患者さまの納得と安心を向上させます。

トータルITシステム・ イメージ図





医療の現場にいる「人」として。

臨

床研修指定病院
としての責務

当院では「人」こそ医療現場におけるもっとも大切な資産であるとの考え方に基づき、優れた医師を育てるための優れた指導医の育成と確保、さらに研修医にとって良い教育環境づくりに力を注いでいます。この結果、当院は厚生労働省が認定している「臨床研修指定病院」として認定されています。この認定は、急性期特定病院同様、様々な要件をクリアする必要があります。

なお、2004年から義務付けられた研修医の実践教育（2年間）の場として、当院の役割はますます重要度を増しています。また、これからの医療人として、グローバルスタンダードに基づく医療を追求していくことが不可欠であるとの考え方から、2年間の研修期間を修了した研修医を対象として海外留学制度を用意。米国ケンタッキー州のセント・エリザベス病院で、世界最先端の救急医療や高度医療システムを学びます。海外の医療事情に直接ふれ、医療人としての自覚や目標を育む上でもおおいに役立っています。

また看護師も、臨床における継続教育の一環として、米国ワシントンD.Cにあるプロビデンス病院への研修に参加しています。

一

人ひとりの
医療の質の向上

当院では医師も看護師も、またメディカルスタッフも、症例検討会、学会活動等への参加をはじめとして、それぞれ自ら

の医療に関する知識や技術の向上に、日々取り組んでいます。

良

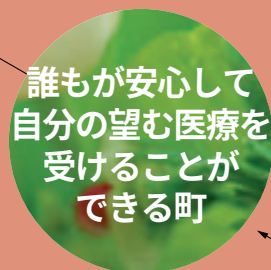
い医療は
良い経営からのみ生まれる

当院では医療改革に取り組むため、「トヨタウェイ」の考え方を導入してきました。具体的には、トヨタグループ全体の職場マネジメントシステム「MAST」によるマネジメント能力、コスト管理能力の向上を図っています。さらに人材育成面に関しては「目標管理制度」や、評価と教育が連動した「人材開発プログラム」の導入、看護部門でのQCサークル活動の展開などを通じて、医療の質の向上を人材面からサポートしています。





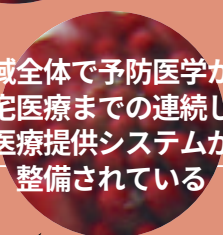
世界水準の
ヘルスケアの町



誰もが安心して
自分の望む医療を
受けることが
できる町



地域貢献
健康支援



地域全体で予防医学から
在宅医療までの連続した
医療提供システムが
整備されている

世界水準の ヘルスケアの町へ



トヨタ記念病院と
地域の医療機関との
強固な連携



IT技術の
活用



在宅医療
支援



メディカルケアランド 「いのちの森」構想。



活

き活きと健康的な
地域社会建設のために

当院の立地する豊田市平和町を「メディカルケアランド」へ。当院ではそんな大きな夢を描いています。「メディカルケアランド」とは当院を中心として医療・保健・福祉の分野を包括した「良質で最適なヘルスケアサービス」が受けられる町づくりをイメージしたものです。

この町の方々は万一病気になった場合にも最適な診断や治療が受けられるだけでなく、病気にならないための予防や日々の健康を増進させるサービスなども受けることができるのです。

この構想の前提条件は、当院のレベルアップであることはいうまでもありません。その第一ステップとして2003年9月、外来棟（クリニック）を開設しました。外来棟はトヨタ記念病院の一般外来を受け持つ専門棟で、地域のプライマリケアを担います。

外来棟には健診センターが開設されており、地域の方々の健康管理に貢献しています。

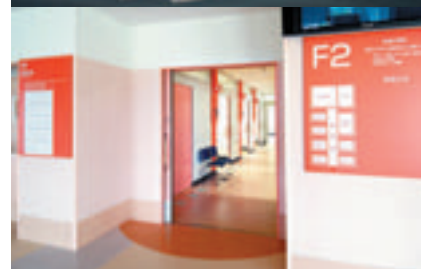
高

機能急性期病院として

一方、トヨタ記念病院の外来機能を専門棟へ移設することで、当院の外来スペースの混雑が多少なりとも緩和されました。同時に救急外来・紹介外来と入院機能の一層の充実が図られました。これにより、当院を高機能急性期病院として一層際立たせることになります。

また、地域の予防医学を担い、地域の方々の健康を守る「健診センター」も一層充実させていきます。

さらに、在宅医療を支援する施設についても、現在地元医師会との緊密な連携により進めています。既にトヨタ自動車健康保険組合により介護施設「ジョイステイ」、訪問看護ステーション「ジョイメイト」等が運営されており、今後さらに充実させていく計画です。



クルマの町、豊田市、 そしてヘルスケアの町、豊田市。



地 域医療機関との連携推進

「メディカルケアランド」の構想の実現にもっとも重要なのは、地域の医療機関との連携を図り、地域の皆さまの立場に立ったトータルな医療サービスを提供することです。地域全体で、医療資源を共有し、役割を分担していくことが、世界水準のヘルスケアの町づくりの基本です。現在、「地域医療連携室」が中心と

なって、こうした地域医療機関との連携の推進に取り組んでいます。

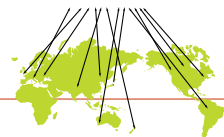
その基盤、インフラとなるのが「トータルITシステム」です。なかでも地域の診療所の先生方からの紹介患者さまの情報を診療所の先生と共有する「コールセンターシステム」は、紹介患者さまに対する、迅速な対応を実現し、紹介率の向上に役立っています。また、こうした地域連携の推進には広報活動も一役買っています。豊田市周辺の医療機関を掲載した「びょういんナビ」を発行、ホームページでも公開しているなど、確実に地域医療連携は成果を上げています。



TOYOTA MEMORIAL HOSPITAL



TOYOTA WAY
FOR THE WORLD



構 想実現のエンジンとして

2002年6月トヨタ自動車と三菱商事の提携により地域医療を支援するための株式会社グッドライフデザインが誕生しました。地域中核病院を中心として、質の高い地域ヘルスケアサービスを実現していくことをめざしています。

具体的には、トヨタ記念病院からの検体検査の受託、調剤薬局の運営などを行っており、医療事務や医療IT化のためのサービスなども展開していきます。介護福

祉分野においては、介護保険によるケアプランの作成を行うほか、福祉車両の紹介、シニア向け住宅整備など、その事業範囲は限りなく広がっています。同社の今後の取り組みは、「メディカルケアランド」構想のエンジンとして、期待されています。

豊田市平和町から発信される地域完結型のヘルスケアモデルは、クルマの町豊田市をヘルスケアの町としても機能させ、地域の皆さまのお役に立つばかりではなく、日本の医療や福祉の在り方を大きく変えるものとなるはずで



病院沿革

- 昭和13年 トヨタ自動車(株)に診療所 開設(内科・外科)
昭和17年 トヨタ病院 開設(診療科目8科目、病床数37床)
昭和27年 准看護婦学校 開設
昭和32年 総合病院 承認
昭和37年 病院改築工事 完成(病床数285床)
昭和56年 特2類基準看護病院 承認
昭和62年 トヨタ看護専門学校 開校
トヨタ記念病院 開院(病床数513床)
平成 7年 臨床研修指定病院 承認
オーダリング・システム 稼働
平成10年 総合不妊センター「ジョイファミリー」開設
「地域周産期母子医療センター」認定
平成11年 開放型病院 承認
平成13年 日本医療機能評価機構 認定
平成14年 「急性期入院加算」認定
平成15年 外来棟(クリニック) 完成
個室専用北病棟 完成(病床数92床)
電子カルテ 導入
平成16年 既存病棟改修 完了(病床数421床、計513床)
「ERTヨタ」開設



診療科目

トヨタ記念病院

内科、循環器科、呼吸器科、消化器科、血液内科、内分泌科、リウマチ科、神経内科、小児科、新生児科、外科、小児外科、肛門科、呼吸器外科、乳腺内分泌外科、消化器外科、呼吸器内視鏡外科、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、ジョイファミリー(生殖医療)、眼科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科、麻酔科、内視鏡科、産業医学科、放射線科、救急科、集中治療科、統合診療科、リハビリテーション科

外来棟(クリニック)

内科、循環器科、呼吸器科、消化器科、血液内科、内分泌科、リウマチ科、神経内科、精神科、小児科、新生児科、外科、小児外科、肛門科、呼吸器外科、乳腺内分泌外科、消化器外科、呼吸器内視鏡外科、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、産業医学科、放射線科、海外渡航科
健診センター



TOYOTA MEMORIAL HOSPITAL

トヨタ記念病院

〒471-8513

愛知県豊田市平和町1丁目1番地

TEL 0565-28-0100

URL <http://www.toyota-mh.jp>

外来棟(クリニック)

〒471-8513

愛知県豊田市平和町1丁目65番地

TEL 0565-24-7100(予約センター)

施設面積

総敷地面積/76,306㎡…東京ドームの1.6倍

駐車場/1,350台

構造/

東病棟・西病棟:地下1階・地上8階

北病棟:地下1階・地上3階

外来棟(クリニック):地下1階・地上4階

建築面積(全体)/23,794㎡

延床面積(全体)/79,718㎡